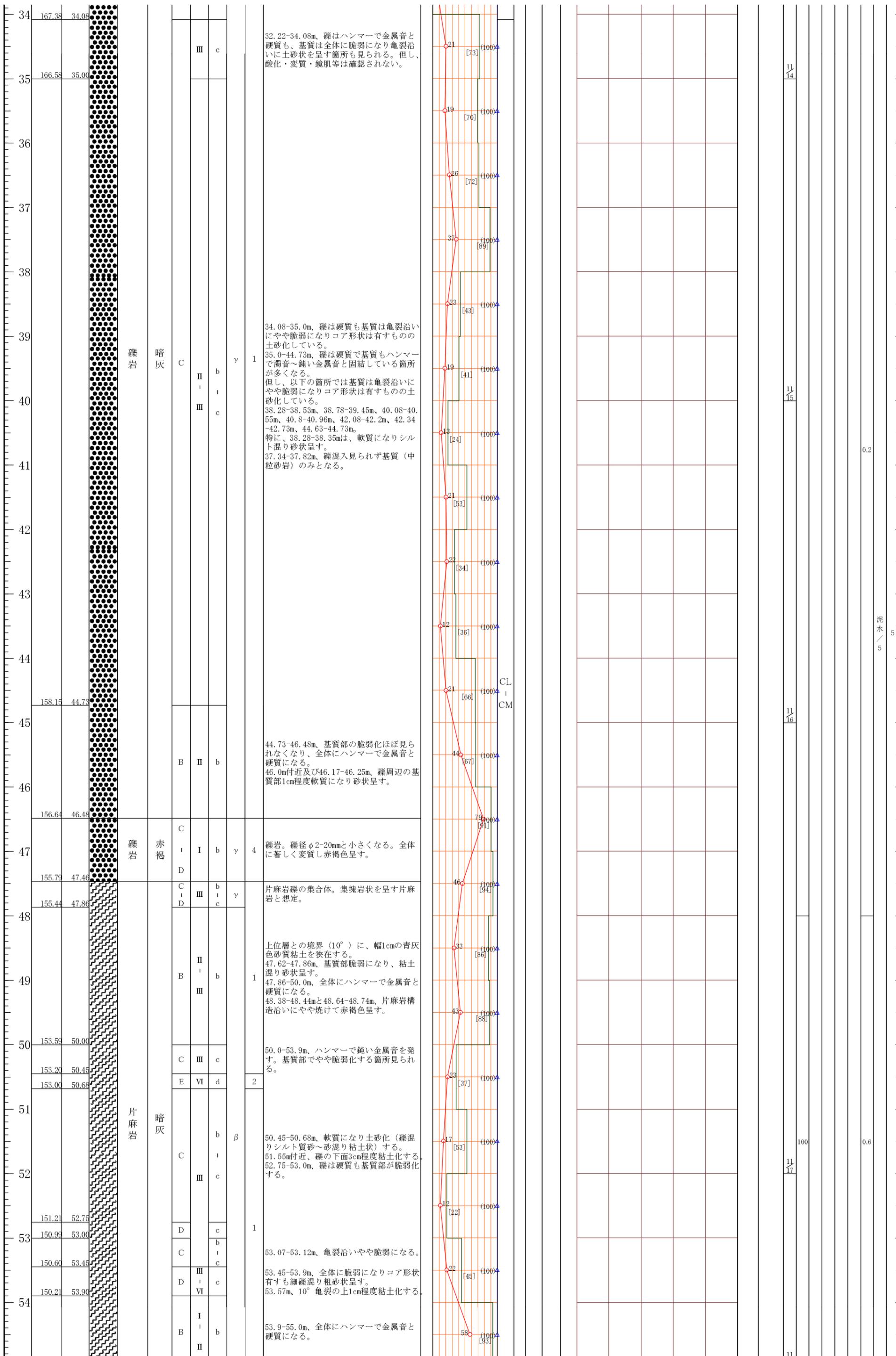


3. ボーリング柱状図及びコア写真



32.22-34.08m, 礫はハンマーで金属音と硬質も、基質は全体に脆弱になり亀裂沿いに土砂状を呈す箇所も見られる。但し、酸化・変質・鏡肌等は確認されない。

34.08-35.0m, 礫は硬質も基質は亀裂沿いにやや脆弱になりコア形状は有すもの土砂化している。
 35.0-44.73m, 礫は硬質で基質もハンマーで濁音〜鈍い金属音と固結している箇所が多くなる。但し、以下の箇所では基質は亀裂沿いにやや脆弱になりコア形状は有すもの土砂化している。
 38.28-38.53m, 38.78-39.45m, 40.08-40.55m, 40.8-40.96m, 42.08-42.2m, 42.34-42.73m, 44.63-44.73m。
 特に、38.28-38.35mは、軟質になりシルト混り砂状呈す。
 37.34-37.82m, 礫混入見られず基質（中粒砂岩）のみとなる。

44.73-46.48m, 基質部の脆弱化はぼ見られなくなり、全体にハンマーで金属音と硬質になる。
 46.0m付近及び46.17-46.25m, 礫周辺の基質部1cm程度軟質になり砂状呈す。

礫岩。礫径φ2-20mmと小さくなる。全体に著しく変質し赤褐色呈す。

片麻岩礫の集合体。集塊岩状を呈す片麻岩と想定。

上位層との境界（10°）に、幅1cmの青灰色砂質粘土を挟在する。
 47.62-47.86m, 基質部脆弱になり、粘土混り砂状呈す。
 47.86-50.0m, 全体にハンマーで金属音と硬質になる。
 48.38-48.44mと48.64-48.74m, 片麻岩構造沿いにやや焼けて赤褐色呈す。

50.0-53.9m, ハンマーで鈍い金属音を発す。基質部でやや脆弱化する箇所見られる。

50.45-50.68m, 軟質になり土砂化（礫混りシルト質砂〜砂混り粘土状）する。
 51.55m付近、礫の下面3cm程度粘土化する。
 52.75-53.0m, 礫は硬質も基質部が脆弱化する。

53.07-53.12m, 亀裂沿いや脆弱になる。

53.45-53.9m, 全体に脆弱になりコア形状有すも細礫混り粗砂状呈す。
 53.57m, 10° 亀裂の上1cm程度粘土化する。

53.9-55.0m, 全体にハンマーで金属音と硬質になる。

11/14

11/15

11/16

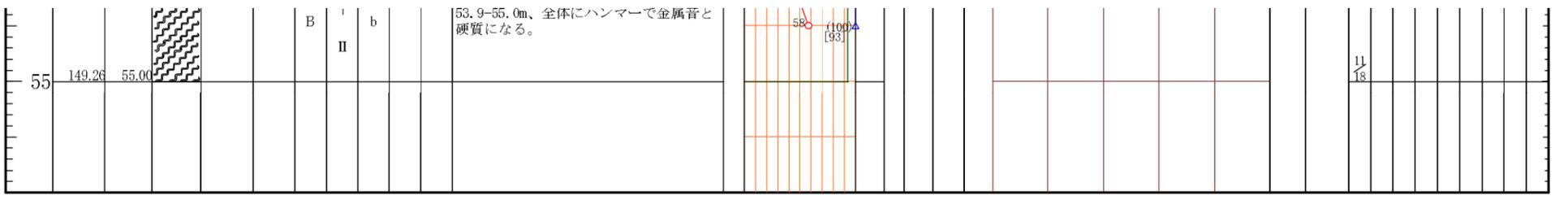
11/17

0.2

泥水 / 5

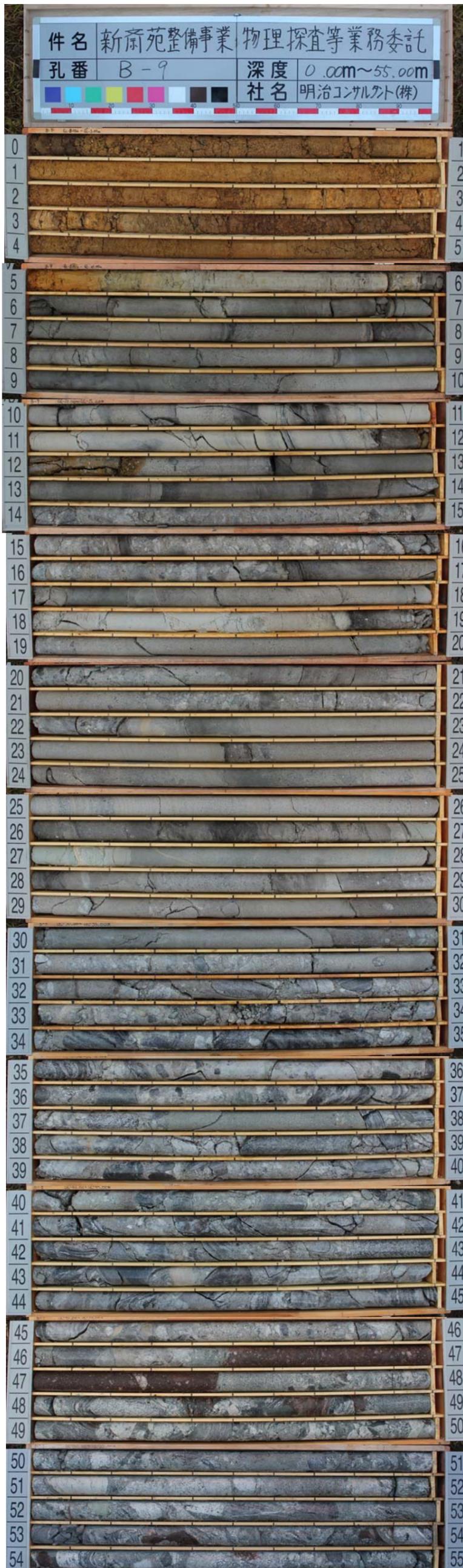
0.6

11



新斎苑整備事業物理探査等業務委託

B-9孔 GL-0.00m~55.00m



新斎苑整備事業物理探査等業務委託

B-10孔 GL-0.00m~35.00m

件名	新斎苑整備事業	物理探査等業務委託
孔番	B-10	深度 0.00m~35.00m
		社名 明治コンサルタント(株)

